

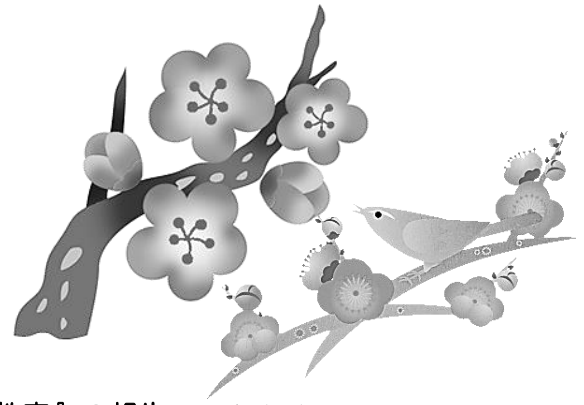
ほのぼの新聞〈2020年2月号〉

作成：田中 聡

第267回1月例会：2020令和2年1月11日(土)17:00～20:00

場所：中区地域福祉センター5階・小会議室、参加者：20名

司会：川合 靖彦、開会挨拶：乾 理恵、閉会挨拶：渡辺 学文



- ① 昨年10月～今年1月までの『ほのぼのバリアフリー絵画教室』の報告：赤崎 帯子
11月30日(土)は健常者2名、12月28日(土)は健常者3名、1月11日(土)は障がい者1名を含む3名で開催しました。
- ② 10月12日(土)『ほのぼのバリアフリー誕生日会』の案内：丸山 和宏
本日の例会後に、1月～3月の誕生日の方々6名を招いて誕生日会を開催します。誕生月の方々は1,500円、その他の方々は2,500円です。ささやかなプレゼントを用意しています。楽しくお祝いしましょう。
- ③ 12月14日(土)『ほのぼのバリアフリー忘年例会』の報告：赤木 加奈
17:00～、今回は酒類の持ち込みもOKとして、数人の方々に手分けして料理を提供してもらい、障がい者5名を含む総員21名で盛大な忘年例会を開催できました。お酒や料理やつまみ等をご提供くださった方々にお礼申し上げます。会費は2,500円で過不足ありませんでした。
- ④ 2月9日(日)『市社協・学習会(新たな災害の時代)』の案内：田中 聡
広島市社協 利用連殿主催の学習会です。広島駅前(ビッグフロントビル)5階大ホールで、10時～15時の開催です。会費は300円ですが立派な昼食が付いています。昨今の災害の多くが想定外と言われていることから『とにかく命を守る、その為にはどうすれば良いか?』を講師と参加者の皆さんで考えます。とても為になる学習会になると思います。例会時点で、相田ほちか、赤崎帯子、兼政夫妻、竹原茜、田中夫妻の計7名の参加希望者がいました。
- ⑤ 今後の『ほのぼのお助け隊勉強会』の構想：竹原 茜
会員の障がい者からの談話は18回で一通り終了しました。今後、どのように進めれば良いか?を考えたいと思います。救急訓練、応急手当技術等の案が出ました。当面は『ええじゃん』の勉強企画に参加する事になりました。
- ⑥ 今年の『ほのぼの広島会・役割分担更新』の実施：司会者
『ほのぼの広島会』では現在A～Qまでの17項目の活動班があります。継続するも廃止するも新規に発足するも良いのですが、班員の交代を促す為に、年末で全ての班を一旦解散して、新年に新たに入班する事にしています。入班への声掛けはしないで、ご本人のご意思を尊重します。募集の結果では、幾分かの新陳代謝が見られましたが、全ての班が成立しました。『Bの、ほのぼのバリアフリー安心マップ班』では『車いすで巡る広島観光地』と題して、各地の車いす観光動画をホームページで配信する活動を既に開始していますが、これを更に充実して、動画はプロジェクターを使って例会で紹介し、その後、ホームページにも掲載するそうです。
- ⑦ 例会の司会者候補と閉会挨拶者の構想：司会者
これまで、次回の、司会者、開会挨拶者、閉会挨拶者、を司会者が決めていましたが、司会候補者と閉会挨拶候補者を事前に決めておいて、その中から選抜する方法に変える事になりました。閉会挨拶者には、ご苦労された方々へのねぎらいや感謝の言葉を述べて戴く事になり、力まないでポチポチ良い挨拶になって行けば良いと言う事になりました。
- ⑧ 年会費徴収の案内：赤木 加奈
当会では毎年1～12月までに、その年の年会費1,000円を徴収する事になっています。毎月受け付けていますので、自主的にご都合の良い時に納入してください。ご欠席が多い方は、どなたかに預けるなどして、ご対応ください。
- ⑨ その他
渡辺 学文さん：世羅町の実家に、昔はマツタケが沢山採れた山林があり、畑もあります。これを当会で使ってもらってボランティアに利用して戴きたいと考えています。
乾 孝弘さん：以前に、自分が歩いている目の前で人が倒れ救急車を呼んだ経験があり、その時、救命救急法を知っておれば良かったと思い返しています。是非、救命救急訓練を実施してください。
- ⑩ 次回2月8日(土)の、司会進行：赤木 加奈さん、開会挨拶：兼政 房子さん、閉会挨拶：赤崎 帯子さん